

平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		810600	2991-0303
事業コード	資(史)料の収集・整理・保存・活用事業	生涯学習推進センター	
810608		グループ ふるさと研究グループ	
開始年度	昭和 63 年度	終了年度	平成 年度

事業の概要	事業の種類別	自治事務	法定受託事務	法定受託 + 附加	根拠法令
	分野別計画・指針	第4次所沢市生涯学習推進計画			所沢市生涯学習推進センター条例・同施行規則・所沢市生涯学習推進センターが保管するふるさと研究資料の利用に関する要綱
	関連・類似事業	ふるさと研究活動事業・収蔵庫設置推進事業(生涯学習推進センター)			
	総合計画の体系	章 教育・文化・スポーツ	節 生涯学習	基本方針	学習資源の蓄積・活用
事業開始の背景	市史編さん事業を通じて調査・把握が進んだ歴史資料(主に文書)や、生涯学習推進センターオープン以来寄贈された民具などの資料を、地域の財産として後世に伝えていくため開始された。生涯学習推進センター開設後は文書資料以外の原物資料(民具など)の受入が進んでいる。				

事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)				
	まちづくりの資源として資料(ふるさと研究資料)を収集し、積極的に活用できるよう整理を実施する。同時に資料の劣化と亡失を防ぐ手立てを構築する。				
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	287
	歴史資料の群(所蔵者・所蔵団体などの資料提供単位) 文書資料以外の原物資料を含める(25年度から)			平成 27 年度	287
事業の具体的な内容及び実施方法					
1. 個人または団体が所蔵する資料の所在を把握し、調査(寄贈・寄託等による受入または借用)・整理する。 (文書の場合は1点毎に表題・作成日・作成者などの情報を書き抜いた目録を作成し、保護用の中性紙封筒に収納して保存する) 2. 整理した資料を撮影する(記録および利用時の劣化を防ぐ代替物として)。 3. 検索を容易にするため資料の目録をデジタル化する。 4. 状況に合わせた検索用フォーマットを整備し、市民等の利用に供するとともに普及事業の中で活用する。 5. 所蔵者へ返還するもの以外、資料は旧公施設などを利用した仮の書庫等で保管する。					

会計種別	一般会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)
予算現額		3,608	3,580	3,601
決算(見込み含む)		3,424	2,719	
(非常勤特別職員)	(臨時的任用職員)	(0.41 人)	(0.00 人)	(0.41 人)
正規職員人件費		0.43 人	0.73 人	6,322
事業費合計		7,174	9,041	
財源内訳	一般財源	7,174	9,041	3,601
	国・県支出金			
	その他()			

「財源内訳」について
平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。

実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標
				活動実績	仮整理が終了した資料群	第一次リストの作成が終了した資料群(群 = 整理・管理上の単位)	件
		仮撮影が終了した資料群	件	124	164		
		資料の利用状況	件	82	65		

成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標
				成果指標	資料の整理状況	仮撮影まで終了し利用可能な段階まで整理が終了した資料の割合(未整理を含む総件数 平成26年度は287件)	%
				実績 43	29	<input checked="" type="checkbox"/> 実績拡大図る <input type="checkbox"/> 実績縮小図る	
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率 77	52	どちらかをチェックしてください	

改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)	(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析
	平成27年度は展示事業において、受け入れ担当者以外にも寄贈資料に関する情報がある程度把握することに努めた。撮影については、本来の資料写真の高精度化を図るため、その実現に向け検討を行った。	民具等の寄贈資料の件数・点数が特に多いことから、仮撮影した写真とリストに基づく受け入れ資料の把握が出来ていない。受け入れから仮整理までの段取りの平準・共有化が図られていない。

評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可) <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	民具等の寄贈資料について、特に受け入れ点数が多い場合、他事業との兼ね合いから第1次整理を先送りする必要があるため、受け入れから仮整理までの段取りを整理し、平準・共有化を図っていく。
	次年度予算 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	文書資料の代替化について、昨年度から開始したデジタル画像作成と、保存性の上で安定したマイクロフィルムの利用を今後も進めていく。	

備	(1)平成28年度に取り組んでいる状況		(2)今後の方向性	
	歴史的価値を有する公文書の収集・整理、寄贈・寄託資料の受け入れと台帳整備、古文書等の整理、資料検索手段の充実、資料の代替化(マイクロフィルム撮影)等に取り組んでいく。		ふるさと研究資料は、市史編纂事業から雑多な形で引き継いださまざまな形態の資料・情報が含まれている。これらの資料・情報の整理に取り組んでいく。	
評価日	H28.8.19	評価者職氏名	生涯学習推進センター所長 倉富 恵理子	

環境影響	有益な環境影響	5-4歴史・文化的環境の保全	有害な環境影響を及ぼす原因活動	代替物の作成	規制を受ける環境法令等	無
					緊急事態	無